

人・農地プラン

市町村名	対象地区名	作成年月日	直近の更新年月日
三朝町	曹源寺集落	令和4年1月12日	—

1. 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	10.6ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	10.6ha
③地区内における75歳以上の農業者の耕作面積の合計	6.2ha
i うち、後継者未定の農業者の耕作面積の合計	0.2ha
ii うち、後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0.1ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積	0ha

2. 対象地区の課題

- ・現在は、協定参加者によって農地が維持されている状態ではあるが、将来的には担い手が不足するため新たな担い手を確保する必要があるが、超急傾斜地等条件不利農地も多く、担い手確保も厳しい状況。
- ・高齢者が多く、法面や水路・農道等の管理が過重な負担となっている。
- ・有害鳥獣による農作物被害が多い。

3. 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

- ・集落の農地利用については、今後も集落外の認定農業者が担う割合が増える。
- ・集落営農組織の立ち上げを検討する。

4. 3の方針を実現するために必要な取り組みや、地区内農業を守るための取り組み

- ・農地の貸付等の意向が確認された農地は、3筆、10aあり、集落での話し合いにより守るべき農地として維持することとする。
- ・鳥獣被害対策については、農家以外にも協力を仰ぎ、捕獲体制の構築に取り組むこととする。
- ・畦畔管理の省力化に取り組む。

5. 中心経営体

属性	農業者	現状		今後の農地の引受の意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	営農地
認定		水稻・大豆	4,500a	水稻・大豆	0a	曹源寺

※高齢化が進むが、圃場整備田の委託に変動は見られない。ただし面積の小さい超急傾斜地は引き受けは困難。